

みずほCustomer Desk Report 2016/04/13号(As of 2016/04/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	108.09 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.97	1.1410	123.18	0.9546	1.4232	0.7592
SYD-NY High	108.79	1.1465	123.99	0.9594	1.4348	0.7690
SYD-NY Low	107.87	1.1346	123.18	0.9500	1.4197	0.7584
NY 5:00 PM	108.56	1.1388	123.60	0.9553	1.4275	0.7681
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.065/11.515	△25RR	1.545	Yen Call Over		

NY DOW	17,721.25	164.84	債券市場	日本2年債	-0.2510	▲0.7bp
NASDAQ	4,872.09	38.69		日本10年債	-0.1020	▲1.6bp
S&P	2,061.72	19.73		米国2年債	0.7385	4.0bp
日経平均	15,928.79	177.66		米国5年債	1.2109	5.3bp
TOPIX	1,299.35	19.56		米国10年債	1.7761	5.1bp
シカゴ日経先物	16,115	360.00	為替市況	独10年債	0.1650	5.4bp
ロンドンFT	6,242.39	42.27		英10年債	1.4420	4.8bp
DAX	9,761.47	78.48		豪10年債	2.4640	5.5bp
ハンセン指数	20,504.44	63.63		USD/CNH	6.4740	0.0049
上海総合	3,023.65	▲10.31		ドルインデックス	94.05	0.10
USDJPY 3M Vol	10.92	▲0.67%	商品市況	CRB指数	175.486	3.66
USDJPY 6M Vol	10.60	▲0.51%		NY金	1,260.900	2.90
EURJPY 3M Vol	11.83	▲0.49%		WTI	42.170	1.81
EURJPY 6M Vol	11.47	▲0.39%		Dubai Spot	39.52	1.64

東京	ドル円は、107.97レベルで東京時間オープン。仲値発表前にかけて108.20台まで上昇する局面があったものの、仲値発表後には再び108.00割れ。しかし、麻生財務大臣から「為替市場動向、関心と緊張感を持って見ていく必要がある」「為替に一方的に偏った投機的な動きが見られれば、場合によっては必要な措置取る」との発言が報じられると、ドル円は108円台を回復した。午後に入っても日経平均株価が堅調に推移する中、ドル円は108円台前半で底堅く推移したものの、一段と上値を追うほどの勢いはなく、東京時間の高値となる108.36をつけた後、108.32レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は108.32レベルでオープン。目立ったニュースのない中、東京時間の麻生財務大臣の発言に下支えされ底堅く推移。ただし、ここでも上値を追うほどの勢いはなく108円台前半でのレンジ推移となり、結局108.34レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1411レベルでオープン。一時は昨年10月15日以来の高値となる1.1465まで上昇する局面もあったものの、高値圏ではユーロ売り圧力が強く、ユーロポンドの下落と相俟って1.1411レベルまで戻してNYに渡った。ポンドドルは1.4239レベルでオープン。発表された英3月小売物価指数のコア前年比が+1.6%と、予想(同+1.5%)を上回る良好な結果となったことでポンド買い優勢となり1.4348まで上昇。但しその後はやや売り戻され1.4307レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は、108.34レベルでNYオープン。IMFが今年の世界成長予想を3.4%から3.2%へ下方修正したことや、ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁(投票権無)が「インフレ率が上昇するまで次の利上げを待つべき」との発言が報じられたものの、ドル円の反応は限定的で狭いレンジで推移。しかし、「サウジアラビアとロシアが増産凍結で合意」「両国の協定はイランの合意次第ではない」と報じられ原油相場が急伸する展開にダウが150ドル高まで上昇すると、ドル円は108.79まで上昇。午後はポジション調整のドル売りが入ってじりじりと値を下げ、結局ドル円は108.56レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1411レベルでNYオープン。朝方、ドル買いが優勢となる局面では1.1346まで下落したものの、ダウの上昇を背景にユーロ円が上昇すると連れ高となり、1.1401まで戻す。午後はやや下押しする局面もあったものの、総じて底堅い推移が続き、結局1.1388レベルでクロスした。(NY 00531 113 682 並上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西谷・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月12日	15:00	日 工作機械受注(速報、前年比)	3月 -21.2%	-
	15:00	独 CPI(確報、前月比/前年比)	3月 0.8%/0.3%	0.8%/0.3%
	15:00	独 EU基準CPI(確報、前月比/前年比)	3月 0.8%/0.1%	0.8%/0.1%
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	3月 0.4%/0.5%	0.3%/0.4%
	17:30	英 CPIコア(前年比)	3月 1.5%	1.3%
	17:30	小売物価指数(コア、前年比)	3月 1.6%	1.5%
	21:30	輸入物価指数(前月比/前年比)	3月 0.2%/-6.2%	1.0%/-4.8%
	22:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	3:00	米 月次財政収支	3月 -\$108.0B	-\$104.0B
	4:00	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	5:00	米 ラッカー・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-

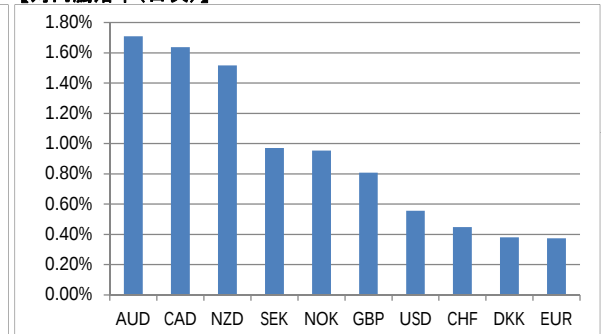
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月13日	8:50	日 国内企業物価指数(前月比/前年比)	3月 0.0%/-3.5%	-0.2%/-3.4%
	-	貿易収支	3月 \$34.95B	\$32.59B
	-	輸出/輸入(前年比)	3月 10.0%/-10.1%	-25.4%/-13.8%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済、前月比/前年比)	2月 -0.7%/1.3%	2.1%/2.8%
	21:30	米 小売売上高(速報、前月比)	3月 0.1%	-0.1%
	21:30	米 PPI(最終需要、前月比/前年比)	3月 0.2%/0.3%	-0.2%/0.0%
	3:00	米 ページブック	-	-
4月14日	3:00	米	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.70-109.20	1.1350-1.1450	123.00-124.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は米連銀総裁たちからのややタカ派なコメントや、「ロシアとサウジアラビアが増産凍結で意見一致」などのヘッドラインを受けて、じりじりと上昇する展開となり、一時108.79高値を付けた。引き続き見通しとしてはダウンサイドリスクを警戒していきたくところであるが、週末(4/17)に産油国会合を控える中、原油相場がマーケットのメインドライバーとなっている状況。原油相場の動向次第では、もう一段ポジション調整の買い戻しが起こる可能性もあるため、109円台前半程度の上値は想定しつつ臨みたい。本日は中国3月貿易収支、米3月小売売上高などの発表が予定されている。